

鉄骨工事 Q&A	工作	鋼材識別	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. 切板はどんな方法で識別されているのか？

A.

鋼材種ごとに決められた色でプロジェクト名、材質、部品名を書くのが一般的です。鋼材種と識別色は製作要領書に表で記載し、同じものを工場内に掲示しておきます。
 (一社)日本建築学会 鉄骨工事技術指針・工場製作編(2018)では、付13に「鋼材の識別表示標準(JSS I 02-2017より抜粋)」が掲載され、鋼材の識別方法としての標準の採用を推奨しています。これまでは、鉄骨製作会社や切板会社によって異なる標準を採用している場合がありますが、この標準により同一の識別方法に統一されていくものと思われます。

区分	鋼種	表示		
鋼板・形鋼	400 N/mm ² 級	SS400	白1本	
		SM400	A	緑1本+白1本
			B	緑2本+白1本
			C	緑3本+白1本
		SN400	A	緑1本
			B	緑2本
	C		緑3本	
	490 N/mm ² 級	SM490	A	黄1本+白1本
			B	黄2本+白1本
			C	黄3本+白1本
		SN490	B	黄2本
			C	黄3本
TMCP325			B	黄2本+青1本
520 N/mm ² 級	SM520	A	黄3本+青1本	
		B	桃2本+白1本	
		C	桃3本+白1本	
	TMCP355	B	桃2本+青1本	
		C	桃3本+青1本	
		C	桃3本	
550 N/mm ² 級	TMCP385	B	紫2本+青1本	
		C	紫3本+青1本	
円形鋼管	400 N/mm ² 級	STK400	白1本	
		STKN400	緑1本	
	490 N/mm ² 級	TKK490	A	緑1本
			B	黄2本
		TKK490	A	白1本
			B	黄2本

工場内での掲示例



端面塗色の例。切板会社で塗色して、納入された切板。



切板の端面塗色例

出典：(一社)日本建築学会_鉄骨工事技術指針・工場製作編、2018